

Same-Origin Policy

- <http://d.hatena.ne.jp/hasegawayosuke/touch/20130330/p1>

概要

- 「RFC 6454 - The Web Origin Concept」で定められている
- 端的に言うと「スキーム、ホスト、ポート」の組み合わせをオリジンと定め、それらが同じものは同一のオリジンとして同じ保護範囲のリソースとして取り扱うということ

動作が制約されるもの

項目	内容
<u>XMLHttpRequest</u>	クロスオリジンでは許可された場合にしかレスポンスにアクセスすることはできません
Canvas	クロスオリジンの場合には許可された場合にしかアクセスできません
Web Storage	クロスオリジンでのデータの読み書きはできません
X-Frame-Options	SAMEORIGIN のような指定をした場合には、オリジンを超えてフレーム内にコンテンツを含めることはできません

クロスオリジンでのリソースでアクセスする方法

- [Cross-Origin Resource Sharing\(CORS\)](#)
- [HTTP access control MDN](#)